

日本有数のコラーゲンバンク誕生 究極の年齢不詳肌がついに実現！  
安全性・信頼性ともに群を抜いた自己コラーゲンを無限に増やし続ける

## 「皮膚再生医療」「コラーゲンバンク」 開始のお知らせ

報道関係者各位

シーズ・メディカルグループ シロノクリニック(理事長 城野親徳、東京都渋谷区、美容皮膚科をはじめ婦人科、審美歯科などを全国で9院展開)では、このたび「皮膚再生医療」を開始する運びとなりましたので報告させていただきます。高度な技術を持った専門の研究者が常駐し細胞を管理する“バイオセンター”をクリニック内に併設し、ほんの少しの皮膚を採取し細胞を増やし続けるという世界でも最先端の医療「自己コラーゲン培養」が実現します。自分の細胞だからこそ安全性も非常に高く、アレルギーを起こす危険性も極めて低い、最先端の安全・安心なアンチエイジングのご提案です。

### 《 効果が期待できる症状 》

- 目の下、目尻のシワ ●クマ ●眉間のシワ ●額のシワ ●ホウレイ線 ●まぶたの窪み
- こめかみの窪み ●頬の窪み ●口元のシワ ●唇の縦シワ ●首のシワ ●手のシワ など

■ 皮膚再生医療 ■ 専用バイオセンターにて、高度な技術を持った常駐の研究者が管理を行います。

エイジングとともに、線維芽細胞が減少し、肌の弾力のもととなるコラーゲン線維も減少していく…  
その結果、シワやたるみ スキンテクスチャーの低下など様々な肌トラブルを引き起こします。  
**自分自身の線維芽細胞そのものを増やして、衰えた肌に補充する医療** それが“皮膚再生医療”です。  
自分自身の線維芽細胞を直接補充するので、自然な効果・結果が得られ  
アレルギーや異物反応の危険性も極めて低い、最も安全性の高い画期的な治療です。

せんいがいさいぼう

\* **線維芽細胞**： 真皮の成分(コラーゲン・エラスチン・ヒアルロン酸)を産み出し、真皮の構造をつくりあげる働きをする細胞

### ■ 細胞採取から自己コラーゲン注入までの流れ ■

《 通院回数 》 3~4回 《 治療期間 》 約2ヶ月  
《 効果の出現 》 2回目の注入後、約1ヶ月~半年

#### ①医師とのカウンセリング

自己コラーゲンを増やし続けるプロセスや必要事項を、担当医師より詳しく説明。細胞の保管方法や個人情報保護に関することなど納得いくまで説明します。

【血液検査】感染症の検査

●HIV●B型肝炎●C型肝炎●ヒト白血病ウィルス●梅毒

#### ②皮膚の採取・血液採取(所要時間:約5分)

肌細胞を含んだ皮膚の小片(米粒1/2~1/3程度)を耳の後ろから採取します。局所麻酔をしますので、痛みは全くありません。採取後の皮膚は約1ヶ月ほどで周囲の皮膚と馴染み、ほとんど目立たなくなります。また自己血を培地として細胞を増殖させるので感染などのリスクも極めて低く、安心です。

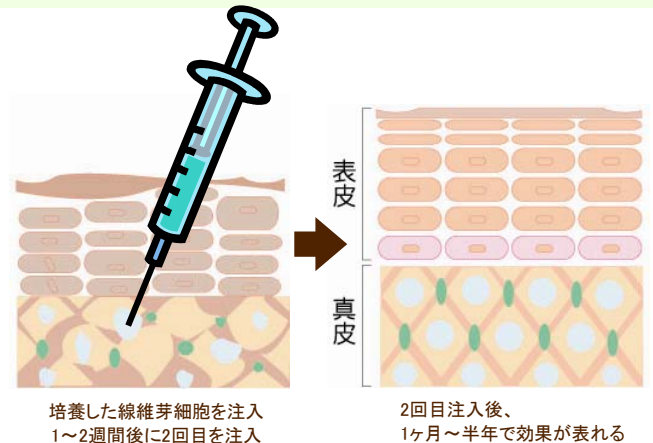
#### ③細胞の保存

採取した肌細胞を無菌状態で試験管に移し、バイオセンター内で活性度の高い肌細胞のみを抽出し大量に再生させます。採取した肌細胞は-196℃の液体窒素の中で、半永久的な保存を行いますので、必要ときに必要なだけを取り出すことができます。

#### ④細胞の注入【1回目】 皮膚採取から1ヶ月後

#### ⑤細胞の注入【2回目】 1回目の注入後1~2週間後

1回目の注入箇所と同じ部分に2回目の注入を行います。2回目の注入後約1ヶ月で細胞が生着しコラーゲンの生産をはじめます。効果の出現には個人差がありますが、注入後(2回目)約1ヶ月~半年後に効果が現われます。



#### ■メリット

- 自己の細胞を利用するため、**安全性**が極めて高く、**アレルギー**の心配もほとんどない
- 永続的効果**が得られ、**自然な仕上がり**
- 目の周囲など、他の注入療法で対処しにくい**デリケートな箇所にも対応可能**
- 皮膚が薄い箇所(首・手の甲)へも効果が期待できる

#### ■デメリット

- 他の注入療法に比べ、出現程度、持続期間に個人差がある
- 同一部位に2~3回の注入が必要
- 感染症、血液性疾患、自己免疫性疾患のある方は、培養・治療が行えない

治療費： 初期費用(細胞摘出/細胞保管管理維持費) 42万円、 肌細胞の保管料 10,500円(月毎)、 注入費 84,000円(1cc)